

ANIMA

(アニマ) てんり

2024年 8月号

発行者

天理市人権問題啓発活動推進本部

本部長 天理市長

事務局 人権センター

* 平和・反戦・反核について *

1945(昭和 20)年8月6日は広島に、同9日には長崎に原子爆弾が投下され、都市は一瞬にして焼け野原となり、多くの尊い命が犠牲になりました。

戦争が終わって間もない 1954(昭和 29)年3月、静岡県焼津市を出航した第五福竜丸も、アメリカの水爆実験に巻き込まれ被爆しました。第五福竜丸は被爆したにも関わらず、何とか自力で航海し静岡県焼津市に帰港しましたが、船長含む乗組員に深刻な健康被害が生じ、乗組員は被爆した半年後に放射能を原因とした病で亡くなりました。また捕獲した魚は市場に出る前に土中に埋められて処分されたり、取扱いを自主規制する事態が生じました。

戦後も日本は核兵器の被害に遭遇していることを我々は決して忘れてはいけません。

戦争を知らない世代が大半を占めていますが、世界では今なお争いの火種は尽きません。

ロシアとウクライナの戦闘状態は、ロシアの一方的な侵攻により始まり早2年が経過しましたが、未だに終結の兆しすら見えません。

また、昨年(2023)年の12月に勃発したイスラエルと

てんいち先生



パレスチナの武力衝突についても、各国の協力や協議のもとで平和への道が探られています。が、どういう結果に導かれるかはまだまだ不透明です。

罪のない多くの人が多く命を落とす、戦争は最大の人権侵害であるとの格言のとおり状態になっています。

21世紀は人権の世紀と言われています。戦争の悲惨さを忘れずに後世に伝え、恒久平和を唱え続けなければなりません。

* マイクロアグレッション *

あなたは知り合いの外国人に「日本語お上手ですね」という言葉をかけてはいませんか。

例えばその知り合いの外国人は、15年も日本に在住し、日本語も学び、自身が住んでいる地域に溶け込もうと努力を続けておられたとしましょう。あなたのその何気ない発言「日本語お上手ですね」は、友人である外国人からすれば、「何を今さらそんなことを言われるのだろう」という気持ちになるかもしれません。

すなわち、マイクロアグレッションとは、「悪気はないのだろうけども、何か気に障るひと言」のことです。学問的に言えば「無意識の偏見や思い込みにより、悪意なく誰かを傷つけること」となります。

マイクロアグレッションの最大の特徴は、「相手を傷つけるつもりはなかった」「そんなつもりではない」といった、発言者に悪意がないという点であるため、不快な思いをした側も、発言者に指摘しにくいという状況となります。「男だから～」「女性は～」「最近の若いものは～」「お年寄り～」など、普段の会話で何気なく言った言葉が、結果として「悪意なく」相手を傷つけてしまっているかもしれません。だからといって、決してあの言葉を使ってはいけない、この言葉を使うのをやめようといった言葉狩りをするようなものでもありません。



お互いが相手の立場や気持ちを慮り、お互いが気持ちよく過ごすことができるような環境作りを作っていけるように気を付けていきましょう。